

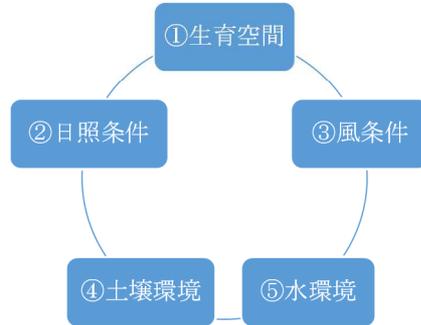
ガイドライン掲載イメージ

「1 持続可能な緑化—①生育空間の確保」の例

育み、つなぐ緑化 ～百年の杜づくり～

1 持続可能な植栽計画

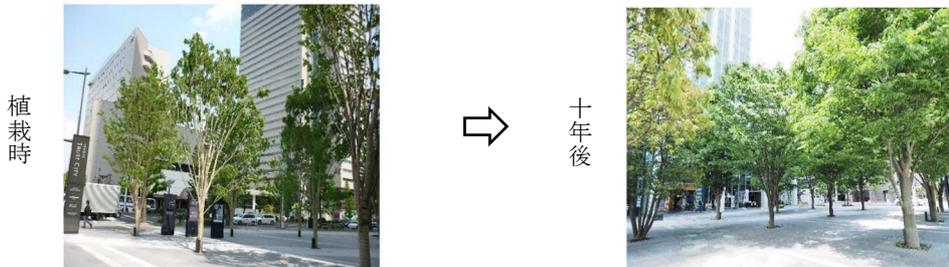
植物は生き物なので、植栽された場所で日光や雨水を浴びながら成長していきます。街なかに植栽された植物が健全に生き続けるためには、次の5つの観点から持続可能な植栽計画を立てる必要があります。



① 生育空間の確保

中高木の植栽位置の検討に際しては、将来樹形を考慮した植栽間隔とするとともに、建築物や敷地境界線などから十分距離をとることで生育空間を確保します。

効果	<ul style="list-style-type: none"> 基本樹形を活かしたのびのびとして美しい生育を見込むことができる 風通しが良くなることで病虫害発生リスクが低くなる 剪定の頻度を減らすことができる
取組み	<p>1) 中高木について、将来の枝張りを考慮して樹冠投影面の大きさを検討する。 ※樹種によって成長する大きさや形は異なります。</p> <p>2) 同規格の樹冠投影面が重ならないように植栽位置を決める。</p> <p>3) 建築物に接触したり敷地外にはみ出さないような植栽位置とする。</p>



計画のイメージ

